



怒りの感情の奥にある声に、耳を傾ける

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（88）】認知症の人の怒りの表出を止めないで

公開日：2019/12/03 (ソサエティ)

里村 佳子 (社会福祉法人呉ハレルヤ会呉
ベタニアホーム理事長)

「ごはんを食べていないの」と、施設
入所者の三井保子さん（仮名86歳）は事
務所に来て言われました。



[morgueFile license](#)

「先ほど食堂で食べているのをお見か
けしましたが」と答えると、首をかしげ
ながらお部屋に戻られました。毎日のよ
うにこんな会話が繰り返されていたのです。

ある日のことです。

三井さんは「なんてここはひどい施設なの。私は1週間もごはんを食べさせてもら
っていないのよ」と、食堂で興奮して大きな声を上げていました。怒りで顔が紅潮
しています。

とっさに私はその怒りを静めようとして、「私もごはんを食べたかどうか分から
ないことがあります。一緒に食事をしてお互いごはんを食べたか確認しませんか」
と、提案したのです。

すると、三井さんは私の顔をじっと見つめ、少し安堵した表情で、「あなたは若
いのにお気の毒ね」と言って、その提案を受け入れてくれました。

それから、私たちは施設の食堂で一緒に食事をするようになりました。

そして、食後には必ず「ごはん食べましたよね」と、確認し合ったのです。

その度に三井さんは肯いてくれましたが、すぐにそのことを忘れ「ごはんを食べていない」と、訴えるのです。

残念ながら私の努力は報われず、三井さんの認知症は悪化し、とうとう下着姿で施設内を歩かれるまでになりました、

そんな三井さんの姿を見かねて、娘さんは自宅に引き取る決断をされたのです。そして娘さんの口から三井さんと夫の仲は悪く、時に暴力を振るわれていたという話を聞きました。

施設に入所した頃の三井さんは、素敵な帽子をかぶりいろんな会合に出かけていました。知的でエレガントな女性だったのです。

外出時には「夫が女は家にいるべきだと言って、私が外に出かけるのを嫌がっていたの。今は気兼ねなく出かけられるわ」と、嬉しそうに話されていました。

ところが、入所して1年ほど経った頃から物忘れが始まったのです。

当時の私は認知症に対する知識も乏しく、まして関わり方も分かっていませんでした。

興奮して怒る認知症の人と接したこともなく、その感情にどう向き合えばいいのか困惑していました。

だから、「私もごはんを食べたか分からないことがある」と嘘を言って安心させ、その場を収めようとしてしました。怒りの感情に蓋をしたのです。

なぜなら、「ごはんを食べていない」という三井さんの怒りを抑えるためには、その都度ごはんを食べてもらう方法しかないと考えていたからです。しかし、それは不可能なことです。

それで、その怒りの感情をごまかしたり、気を紛らわせたりしたのです。

その上、「食事を食べた」という事実を突きつけて認めさせ、三井さんを私たちの世界に連れ戻すことに、やっきになっていたのです。

なので、事実を認識する力のない三井さんは混乱し、不安を増幅させてどんどん自分の中に閉じこもっていきました。

今の私であれば、「ごはんを食べていない」と怒ったら、「どんなものがあれば満たされますか」と言って、心の奥にある欲求に耳を傾け感情の表出を促します。



『尊厳ある介護 「根拠あるケア」が認知症介護を変える』（岩波書店、本体1800円）

人は自分の感情を受けとめて、共感してくれる人に心を開くからです。

また、心の奥にある夫に愛されたいと思っても叶わなかった欲求が、「ごはんを食べてない」という訴えに、形を変えたのではないかと想像することもできます。

しかし、三井さんは誰にもその欲求に気付いてもらえず、孤軍奮闘していたのではないのでしょうか。

認知症の人にだって怒る権利はあるはずです。

それを認めその背後にある理由に共感すれば、三井さんの怒りは和らぎ、あんなに足早に認知症の世界に逃避しなかったのかもしれない。

（注）事例は個人が特定されないよう倫理的配慮をしています。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

> [里村 佳子のバックナンバー](#)

> [新国立、英語試験、懲りない文科省の無責任体質](#)

- > [「日本の完勝」産経に高揚感](#)
- > [「桜を見る会」騒動から見える安倍晋三という首相の人物像と本質](#)
- > [北朝鮮ファーストの文大統領を嘲笑する金委員長](#)

[プロフィール](#)[最近の投稿](#)**里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム理事長）**

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設運営。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。2019年ニュースソクラのコラムを加筆・修正して「尊厳ある介護」を岩波書店より出版。

[この記事編集](#)

ソクラとは	FAQ
編集長プロフィール	利用規約
利用案内	プライバシーポリシー
著作権について	特定商取引法に基づく表示
メーカーソクラ	お問い合わせ
お知らせ一覧	コラムニストプロフィール

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved